

令和2年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒自ら課題を設定し、課題解決に向けて主体的に探究することができる生徒の育成を図る</p> <p>②グローバル化が進む社会で活躍できる生徒の資質・能力の育成を図る。</p>	<p>①新学習指導要領に対応した教育課程を本校の実情と生徒のニーズを踏まえて編成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信技術を活用できる授業環境を整備するとともに、教員の利用を推進する。 <p>②多くの生徒がグローバル教育を受けられることのできる場面の充実を図る。</p>	<p>①本校の教育の骨太方針に基づき、カリキュラムWGを中心に今年度内に新教育課程を編成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が情報機器を活用した授業を導入できるように教員対象の校内ICT研修を実施する。 <p>②身近な事柄を題材とした講演会を実施するとともに日々の授業内でも国際理解を意識した授業を実施する。</p>	<p>①新学習指導要領に対応した教育課程を本校の実情と生徒のニーズを踏まえて編成できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員対象の校内ICT研修を実施し、授業への活用を増やすことができたか。 <p>②身近な事柄を題材とした講演会を実施することができたか。また、日々の授業内で国際理解を意識した授業を実施することができたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①豊かな人間性やコミュニケーション能力、主体的に行動できる人格の育成を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりの適切な理解に基づく生徒支援体制と教育・健康相談の充実を図る。</p>	<p>①生徒が主体的に活動する場面や仕組みを整えるとともに支援する。</p> <p>②生徒一人ひとりに目を向け、生徒理解に努める。また、感染症予防の知識を発信するなど健康で健全な学校生活を送れるようにサポートする。</p>	<p>①学校行事で生徒が主体的に活動する場面を増やしていく。</p> <p>②生徒理解のための教育相談担当職員での定例会議などで情報を適切に共有する。また、健康に関する情報を定期的に発信したり、健康観察から不安のある生徒に声かけをしたりしてサポートする。</p>	<p>①生徒会行事だけでなく、学校説明会などの場面で生徒が主体的に活動する場面を昨年度よりも増やすことができたか。</p> <p>②教育相談担当職員が担任や必要機関と連携し、生徒支援の一助となることができたか。また、健康観察等を通じて実態を把握し、学級通信や「ほけんだより」などで、健康的な生活のサポートができたか。</p>					
3 進路指導・支援	<p>①生徒自らが進路を開拓・選択する力を培うとともに、第一希望の実現をサポートする。</p>	<p>①探究活動等を通して、自らの進路を考え、選択できるようサポートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタディショップやHi-ゼミなどの講習を通して、基礎力の定着のみならず、応用力の育成を目指す。 	<p>①進路学習のワークシートによる調べ学習を通して、自らの進路を開拓・選択できるようになることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏のスタディショップの1・2年生は英数国、3年生は5教科の応用講座を開講する。 ・Hi-ゼミでは、3年間を見通した応用力育成の講座を開講する。 	<p>①学年が終わるごとに、生徒それぞれが具体的な進路設定ができたか。3年生は、自分の決めた進路に向けて受験準備が行えたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタディショップでは、応用講座が一定数(昨年並)以上、確保できたか。 ・Hi-ゼミでは、各学年、一定数の講座を確保できたか。 					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	①PTAや地域との連携事業を推進し、地域とともにある学校づくりを推進する。	①PTAや地域の小中学校との交流・連携事業を推進し、地域の教育力を活用するなど地域とともにある学校づくりを推進する。 ・地域貢献活動や地域の他の学校等との交流を推進する。	①PTA活動が円滑に行われるよう連携を密にし、サポートする。 ・西口エリアマネジメントと連携し、地域での多様な活動の活性化を図る。 ・高齢者・障害者施設の訪問や募金活動等の地域貢献活動を行う。 ・保土谷養護学校分教室と学校行事等を通して生徒同士の交流を推進する。	①PTA活動との連携を密にし、地域とともにある学校づくりを推進することができたか。 ・地域での多様な活動の活性化を図ることができたか。 ・地域貢献活動の活性化を図ることができたか。 ・保土谷養護学校分教室の生徒との交流は推進できたか。					
5	学校管理 学校運営	①大規模災害に備え、職員・生徒が協力して行動できる体制を整える。 ②生徒と向き合う時間を確保するため、教員の働き方改革を推進する。	①大規模災害に備え、防災マニュアル等に基づき、職員・生徒が協力して行動できる体制を整備する。 ②教員の勤務時間を把握し、長時間勤務の是正を図る。	①津波及び南海トラフ地震を想定した具体的で実践的な防災訓練の計画を行う。 ・横浜市との協定細則に基づく避難所運営について職員の理解を深める。 ②勤務時間内の会議の徹底を図る。	①津波や南海トラフ地震を想定した具体的で実践的な防災訓練ができたか。 ・補助的避難所の避難所運営について職員に周知できたか。 ②勤務時間内に会議が終了したか。					